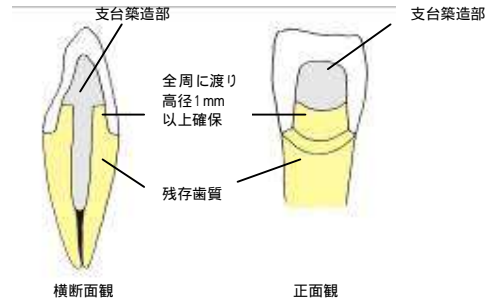


ファイバーコア ポスト システムについて

1. 残存歯質について

ファイバーコアポストにより支台築造する歯牙は、フェルルール(マージン部からの立ち上がり)の高径を全周にわたり 1mm以上確保してください。またマージン部はバットジョイントとし、マージン部は健康歯質上に設定してください。



2. 操作中の取扱いについて 1

ファイバーコアポストは直接手指で触らず、清潔なピンセットで取り扱ってください。手指の油や、グローブに付着しているパウダー、その他の接着阻害因子が付着した場合は、アルコールで拭き取り、エアブロー(オイルフリー)で乾燥させた後、ボンディング材(ボンドワン)を極薄く塗布してください。



3. 操作中の取扱いについて 2

ファイバーコアポストの表面を削った場合は、表面をアルコールで拭き取り、十分に乾燥させた後、シランカップリング処理を施してください。またシランカップリング処理後は速やかに支台築造用レジン内へ埋入してください。



4. ポストドリルについて

ポストドリルは使用するハンドピースメーカーの指示に従い、シャック部をチャックの奥底まで挿入してください。確実にポストドリルがチャック部に固定されていることを確認後、口腔外で回転させ、回転ブレが無いことを確認してからご使用ください。なお回転ブレやその他の異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。また、ポストドリルは破損する場合がありますので、無理な確度、過度の加圧下で使用しないでください。



5. 間接法によるコアの接着面処理

間接法で製作されたコアの接着面は、アルミナサンドブラस्टィング処理(粒度 50 μ m、1気圧)を行い、十分洗淨・乾燥し、歯牙への接着前にシランカップリング処理を行ってください。



6. 歯質への接着処理

間接法で製作したコアを歯牙へ装着する際は、必ずレジンセメントをご使用ください(グラスアイオノマー系セメント使用不可)。なお、仮封材を使用した場合は、接着阻害となる恐れがありますので、回転ブラシ等を用いて仮封材を完全に除去してから接着操作を行ってください。ポスト孔内の清掃には「マイポストブラシ」が大変便利です。

